



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 内藤 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	5,841	12.3	1,180	40.7	966	48.1	543	40.6
23年9月期第3四半期	5,201	—	838	—	652	—	386	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	11,957.10	11,893.63
23年9月期第3四半期	8,502.97	8,463.19

(注)23年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、平成23年9月期第2四半期より連結財務諸表非作成会社となったため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年9月期第3四半期	18,716	—	6,263	—	33.2	—
23年9月期	18,323	—	5,768	—	31.3	—

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 6,211百万円 23年9月期 5,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1,400.00	1,400.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	12.3	1,500	25.5	1,240	33.1	720	31.5	15,839.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	47,532 株	23年9月期	47,532 株
24年9月期3Q	2,075 株	23年9月期	2,075 株
24年9月期3Q	45,457 株	23年9月期3Q	45,457 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（自平成23年10月1日至平成24年6月30日）における我が国の経済は、世界経済が欧州債務問題を巡る懸念等により、神経質な動きにある中、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移し、緩やかに持ち直しつつあります。

当社の属する駐車場業界においては、個人の消費マインドの改善傾向、企業の設備投資の増加基調のもと、堅調な回復を維持しております。

このような中で、当社は、引き続き積極的な営業活動を行い、駐車場の新規開設を進めるとともに、既存駐車場の採算性向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間においては168件3,141車室の新規開設、39件533車室の解約があり129件2,608車室の純増となり、6月末現在1,048件16,085車室が稼働しております。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は5,841百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益1,180百万円（同40.7%増）、経常利益966百万円（同48.1%増）、四半期純利益543百万円（同40.6%増）を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下のとおりであります。

（賃借駐車場）

当第3四半期累計期間においては127件2,596車室の純増となり、6月末現在においては947件12,490車室が稼働しております。特に千葉県において大型駐車場の受注（5件1,339車室）があり、大きく車室数を伸ばすことができました。このほか主に既存駐車場の売上が堅調に推移したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は4,626百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

（保有駐車場）

6月末現在において101件3,595車室が稼働しております。当第3四半期累計期間においては、新たに2件29車室のオープン及び駐車場レイアウトの変更等による14台の増加があり、2件43車室の純増となりました。また6月に新たに姫路市において1件6車室の用地取得（7月にオープン済み）がございました。売上高は1,049百万円（同5.5%増）となりました。

（その他売上）

その他売上に関しては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上及び駐輪場売上により、売上高は165百万円（同15.4%増）となりました。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

	第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	前年同期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	前事業年度 (自平成22年10月1日 至平成23年9月30日)
駐車場形態	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	4,626	4,062	5,488
保有駐車場	1,049	995	1,348
その他売上	165	143	195
合計	5,841	5,201	7,032

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は18,716百万円となり、前事業年度末から393百万円増加しました。これは主に土地の増加（148百万円）及びリース資産の増加（279百万円）によるものです。

当第3四半期会計期間末における負債の部は12,453百万円となり、前事業年度末に比べ102百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少（544百万円）及びリース債務の増加（213百万円）によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産の部は6,263百万円となり、前事業年度末に比べ495百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（488百万円）によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の31.3%から33.2%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

既存駐車場の収益性の向上により、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも平成24年4月27日に公表した業績予想を上回るペースで推移しております。

今後については、売上高は、新規駐車場のオープンが計画よりも下半期に集中するため、前回予想を若干下回りますが、営業利益、経常利益、純利益については、既存駐車場の収益性の底堅さ及び復興需要に伴う東北地方の保有物件の収益改善等により、堅調な推移が予測されるため、予想を上方修正いたします。

また、平成24年9月期の期末配当金について、当初予想の1株当たり1,300円から100円増額し、1株当たり1,400円とさせていただきます。なお本件につきましては、今後開催される決算取締役会の承認を得たうえ、平成24年12月開催予定の第16期定時株主総会に付議する予定であります。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,670	1,395
売掛金	55	47
前払費用	340	422
その他	34	34
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	2,099	1,899
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	727	778
土地	13,612	13,760
リース資産(純額)	885	1,164
その他(純額)	496	622
有形固定資産合計	15,722	16,326
無形固定資産	63	51
投資その他の資産	439	440
固定資産合計	16,224	16,817
資産合計	18,323	18,716
負債の部		
流動負債		
買掛金	76	90
1年内償還予定の社債	40	40
短期借入金	—	100
1年内返済予定の長期借入金	984	919
未払法人税等	163	229
賞与引当金	24	13
その他	448	608
流動負債合計	1,736	2,001
固定負債		
社債	410	380
長期借入金	9,131	8,586
リース債務	715	929
その他	562	556
固定負債合計	10,818	10,452
負債合計	12,555	12,453

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,576	1,576
資本剰余金	1,606	1,606
利益剰余金	2,886	3,375
自己株式	△100	△100
株主資本合計	5,968	6,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	△1
繰延ヘッジ損益	△234	△245
評価・換算差額等合計	△234	△246
新株予約権	33	52
純資産合計	5,768	6,263
負債純資産合計	18,323	18,716

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,201	5,841
売上原価	3,747	4,027
売上総利益	1,454	1,814
販売費及び一般管理費	615	633
営業利益	838	1,180
営業外収益		
受取利息	32	0
受取保険金	1	0
受取和解金	—	0
その他	3	0
営業外収益合計	37	1
営業外費用		
支払利息	216	210
その他	7	5
営業外費用合計	224	215
経常利益	652	966
特別利益		
固定資産売却益	—	0
抱合せ株式消滅差益	40	—
特別利益合計	40	0
特別損失		
固定資産除却損	20	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
その他	5	—
特別損失合計	41	11
税引前四半期純利益	651	954
法人税等	264	411
四半期純利益	386	543

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。